

氏名	飯岡由紀子	部署	大学院研究科	職名	教授
研究分野	臨床看護学、がん看護学、看護教育、Women's Health、慢性期看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	聖路加看護大学看護学部看護学科、聖路加看護大学看護学研究科博士前期課程、聖路加看護大学看護学研究科博士後期課程				
経歴	兵庫県立看護大学、聖路加看護大学、東京女子医科大学看護学部				
所属学会（役職）	日本看護科学学会（代議員）、日本がん看護学会、聖路加看護学会（評議員）、日本女性医学学会（幹事）、日本女性心身医学会（幹事）、日本緩和医療学会、日本乳癌学会、日本看護学教育学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	新しいIPWを学ぶ	共著		中央法規、288	編集：朝日雅也、國澤尚子、田口孝行 執筆：秋山恭子、浅川泰宏、朝日雅也、畔上光代、新井利民、飯岡由紀子、井上和久、井原寛子、梅崎薫、江口のぞみ、大塚眞理子、小川孔美、勝木祐仁、萱場一則、川越雅弘、川俣実、北島裕子、國澤尚子、久保田章仁、久保田富夫、久保田亮、佐藤玲子、柴田貴美子、嵩末憲子、鈴木幸子、鈴木康美、鈴木玲子、須永康代、添田啓子、高橋綾、高村夏輝、高柳雅朗、田口孝行、田中健一、田中滋、辻玲子、常盤文枝、富田文子、中村裕美、滑川道人、原和彦、廣渡祐史、星文彦、保科寧子、星野純子、本間三恵子、丸山優、水間夏子、森正樹、森田満理子、吉村基宜、米澤春風、小林亜耶、篠原純史、吉川和希、上原美子、花房華帆、小野寺由美子、酒本隆敬、山崎あすか、原嶋創、林裕栄	2022年4月	
2	成人看護学 慢性期看護 第4版	共著		南江堂、535	編集：鈴木久美、旗持知恵子、佐藤直美 執筆：鈴木久美、片岡優実、今戸美奈子、旗持知恵子、木下幸代、佐藤直美、府川晃子、巽あさみ、藪下八重、鈴木智津子、小江奈美子、齊藤奈緒、高橋正子、川地香奈子、森本悦子、近藤美紀、阿部恭子、片岡純、松本麻里、高山京子、池亀俊美、真茅みゆき、利木佐起子、山中政子、森一恵、清水玲子、田中登美、鶴田理恵、杉野祐子、飯岡由紀子、杉本知子、長崎ひとみ、植木博子	2023年2月	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	「バイタルサインの正確な測定 実践能力チェックリスト（VSAMチェックリスト）」の開発および信頼性・妥当性の検証	共著	あり		日本看護科学誌 42、111-120	渡邊恵、飯岡由紀子、常盤文枝、朝日雅也	2022年8月

2	がんサバイバーの看護師が仕事と療養生活の両立のために職場に対して抱く考え・行動の変化のプロセス	共著	あり		保健医療福祉科学 12、15-22	櫻井理恵、 <u>飯岡由紀子</u> 、常盤文枝	2022年9月
3	看護師の調整力（コーディネート力）の概念分析	共著	あり		日本看護学教育学会 32(2-1)、15-26	<u>飯岡由紀子</u> 、杉本知子、辻恵子	2022年9月
4	助産師が知っておきたい意思決定とその支援 更年期障害患者への意思決定支援	単著	なし		臨床助産ケア 第14 巻5号 83-87	<u>飯岡由紀子</u>	2022年9月
5	ウィメンズヘルスケアにおける看護カウンセリング	単著	なし		日本女性心身医学 27(2)、168-171	<u>飯岡由紀子</u>	2022年11月
6	多職種連携におけるコーディネート力尺度（MCAS）の開発-がん医療に携わる医療専門職を対象とした信頼性と妥当性の検討-	共著	あり		Palliat Care Res 18(1)、1-10	<u>飯岡由紀子</u> 、大場良子、廣田千穂、森住美幸、小菅由美、真鍋育子、清崎浩一、馬場知子、関谷大輝、小倉泰憲、儀賀理暁、黒澤永	2023年1月
7	看護基礎教育における正確な血圧測定のための「状況基盤型教育プログラム」の開発と効果の検証：無作為化比較対照試験	共著	あり		日本看護科学会誌 42、528-539	渡邊 恵、 <u>飯岡由紀子</u> 、常盤文枝、朝日雅也	2023年2月
8	看護系大学における臨地実習の教育上の調整の実態と教員の認識	共著	あり		日本看護科学会誌 42、735-744	<u>飯岡由紀子</u> 、松岡千代、小川純子、遠藤和子	2023年3月
9	日本のがん看護外来の看護実践の実態	共著	あり		日本看護科学会誌、 42、706-716	<u>飯岡由紀子</u> 、峯川美弥子、鈴木香織理	2023年3月

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	看護師のリフレクティブシンキングとキャリア発達との関連	共同	第42回日本看護科学学会学術集会、広島	○久保田まりえ、 <u>飯岡由紀子</u> 、大場良子	2022年12月

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	シンポジウム：更年期障害に対する自律訓練法	単著	第45回日本自律訓練学会	○ <u>飯岡由紀子</u>	2022年10月

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省科学研究費（基盤研究B）	チームの納得を促進するための看護師のコーディネート力向上プログラム開発と評価	研究代表者	2019～2023年度
2	文部科学省科学研究費（基盤研究C）	AYA世代婦人科がん体験者における女性性の危機と再適応を促す因果モデルの検証	研究分担者	2020 - 2023年度

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	がん看護学概論	○	8	がん看護領域において基盤となる理論・概念について理解を深めることを目標とした。多様な書籍や文献を用いて分析的かつ批判的に検討できるようにした。
2	がん病態生理学	○	2	がんの病態生理について系統的に学ぶことを目標とした。多分野の医師から診断と治療に関する知識を系統的に学べるようにした。
3	看護研究	○	9	看護の向上や発展をはかるために必要な看護研究の方法に関する基礎的知識・技術を理解し、看護学における研究の役割や研究プロセス、研究成果の臨床への適応について理解する。
4	臨床看護開発論	○	13	EBPに基づく実践的な研究に関する理解を深めることと、概念分析の理解を深めることを目標とした。履修者のテーマに応じて実際に概念分析を行うことで理解を深められるようにした。

5	がん看護学援助論Ⅱ	○	11	がん患者の生活の再構築や治療と生活の両立を促進するための看護を学ぶことを目標とした。薬物療法、放射線療法の専門家からの講義の他、フィールドワークも行い理解を深めるようにした。
6	看護倫理	○	8	保健医療福祉分野において、看護の実践・研究・教育を探究するために必須となる理論的基盤について学術的に考察する。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床看護開発論演習	○	30	科学的根拠のある実践を創造するための知識と技術を修得することを目標とした。システムティックレビュー、サブストラクションなどを用いて実践的な学習を取り入れた。
2	がん看護学演習Ⅱ	○	17	終末期がん患者と家族を対象に症状マネジメントや症状緩和技術を修得することを目標とした。事例検討やロールプレイングなど学習技法を工夫した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	がん実践看護実習Ⅰ	○	学外実習：2週間	がん医療の連携・協働のあり方を検討するため、訪問看護ステーションと大学病院の地域連携部署の両側面から理解を深めるようにした。
2	がん実践看護実習Ⅱ	○	学外実習：4週間	がん治療方針の決定と治療プロセスを理解し、ケアとキュアを融合した医療を判断し提供する能力を修得できること目標とした。実習指導体制を整備し、がん看護CNSの指導により目標が達成できるようにした。
3	がん実践看護実習Ⅲ	○	学外実習：4週間	がん看護CNSの6つの役割について、がん看護CNSの指導のもと役割を遂行することを目標とした。組織分析をふまえ、主体的に役割を遂行できるよう指導者と連携しながら実習を展開した。
4	IPW実習		4日間	チーム機能を促進させ、患者中心のケアプランの立案をすることを目標とした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2022年4月～2023年3月	主指導(指導教員) 6名	副指導(指導補助教員) 名
2	博士論文	2022年4月～2023年3月	主指導(指導教員) 3名	副指導(指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	慶應義塾大学 非常勤講師	2022年11月	助産師専攻学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
2	上智大学 非常勤講師	2022年5月	助産師専攻科学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
3	東京医療保健大学 大学院非常勤講師	2022年4月～5月	看護学研究科大学院生の看護研究と研究手法の理解を深める。	
4	聖路加国際大学 大学院非常勤講師	2022年5月	大学院ウィメンズヘルスCNSコースの院生に実践活動の展開を説明し、役割の理解を深める。	
5	聖路加国際大学 大学院非常勤講師	2022年11月	大学院ウィメンズヘルス専攻学生に、更年期医療とケアの理解を深める。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	講演	埼玉協同病院	看護研究初級編講座「看護研究」	2022年7月
2	講演	獨協医科大学埼玉医療センター	看護研究研修会	2022年8月
4	FD研修	関東学院大学	研究倫理指針をふまえた科研費の申請書の書き方のポイント	2022年9月
5	研修会	東京女子医科大学八千代医療センター	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある(3年目看護師)	2022年9月～11月
6	研修会	日本母性看護学会	概念分析～Rodgersの革新的方法～	2022年10月

7	研修会	埼玉県立大学保健医療福祉学学会	アンケート（質問紙）調査の実施方法と分析方法	2022年11月
8	研修会	東京女子医科大学八千代医療センター	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある（主任）	2022年12月
9	研修会	法人NPO 日本ウクライナ友好協会	更年期世代の女性の健康	2023年2月
10	公開講座	埼玉県立大学	カンファレンスをより良くするファシリテーションスキル	2023年2月
11	研修会	東京女子医科大学八千代医療センター	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある（師長）	2023年3月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日本看護科学学会		和文誌編集委員会	2021年8月～現在
2	日本がん看護学会		編集委員会	2021年4月～現在
3	日本女性医学学会		庶務委員会、リエゾン委員会、将来検討委員会	2021年4月～現在
4	日本女性心身医学会		利益相反委員会、将来検討委員会	2021年6月～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会		2022年4月～2023年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2022年4月～2023年3月
3	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2022年4月～2023年3月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			